

舞鶴引揚記念館と ユネスコ世界記憶遺産



白樺日誌

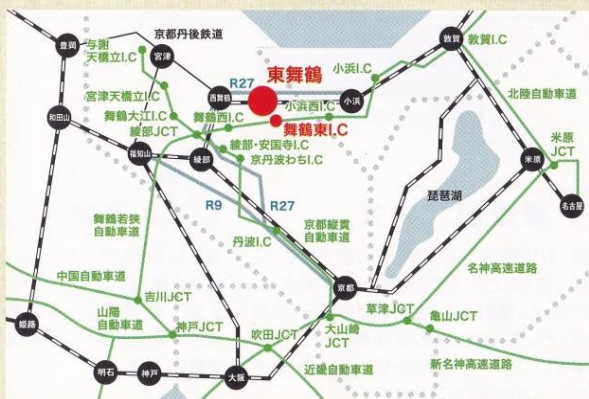
本記念館は昭和63年(1988)、多くの引揚者が祖国への第一歩を踏みしめ、人生の再スタートを切った舞鶴市平の地に、日本全国からの寄付金を受けた舞鶴市が設立したものです。日本本国への苦難に満ちた引き揚げと筆舌に尽くしがたい旧ソ連領内の抑留生活の歴史を後世に伝え、平和の尊さを世界に発信しています。戦後70年を迎えた平成27年(2015)、その収蔵資料の中から570点が、特に希少性が高く、世界的にも重要性を持ち、広く世界の人々が共有すべき資料として、ユネスコの世界記憶遺産に登録されました。それらの資料は、人間愛、家族愛、祖国愛、同胞愛、平和への願い、そして絶望的な状態に置かれた人間の持つ生きる希望と生命力など、人類に共通する極めて人間的かつ普遍的な主題を発信しています。

引揚と舞鶴港

昭和20年(1945)第二次世界大戦の終結にともない、当時海外に残された日本人は660万人以上ともいわれ、これらの方々をすみやかに帰国させなければならなくなりました。これを「引き揚げ」といいます。

舞鶴港は、政府が指定した引揚港の一つとして、昭和20年10月7日第一船の入港から、昭和33年(1958)9月7日の最終船まで、実に13年間の長きにわたり、その使命を果たしました。昭和25年以降は唯一の引揚港として、「引き揚げのまち・舞鶴」の名を全国に広めました。

交通アクセス



ユネスコ世界記憶遺産登録 舞鶴引揚記念館

Maizuru Repatriation
Memorial Museum



舞鶴引揚記念館

〒625-0133 京都府舞鶴市字平1584番地
TEL.0773-68-0836 FAX.0773-68-0370

